

## 市民アンケート調査について

本アンケート調査は、宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）において、取り組むべきまちづくりの方向性について検討する基礎資料として活用するため、実施するものである。

総合戦略の検討にあたっては、本市でこれまで実施した各種アンケート調査結果を活用しつつ、不足する情報を本アンケート調査で把握することとし、特に、人口減少に歯止めをかけるため、出生率の向上や人口流出抑制に寄与する施策の検討に必要なデータ収集を行うためのものとする。

### ◆これまでのアンケート調査及び項目

	企業 アンケート	買物動向	行政分野 市民満足度	転出入 理由	結婚	出産	子育て	就職	進学	備考
将来戦略プラン	○	○								市内企業200社
シティプレゼンテーション			○	○						転出入約200人、満足度3,000人
府少子化要因実態調査					△					20～44歳、750人
市子ども子育てニーズ調査							○			小学生以下の子どもがいる世帯、1,500人
総合戦略調査					○	○	△	○	○	

### ◆アンケート調査項目

進学・就職によって本市から離れる可能性のある世代や、出産・子育てに関連の深い年齢層に絞ったアンケート調査とする。

○進学・就職・・・・・・・・・・18歳～29歳 1,500人

進学希望地域、就きたい職業、地元企業の認知度

○結婚・出産・子育て・・・・20歳～49歳 1,500人

結婚・出産意向、出産に必要なこと、子育てと定住の関連性

## ◆具体的なアンケート調査項目について

### 1. 進学・就職に関するアンケート

#### (1) 調査対象

- ・市内在住の18～29歳 1,500人

#### (2) 質問項目

##### ①フェイスシート

###### ◇設定理由

おかれている環境、本市における居住期間・時期などにより、居住意向が異なるかを把握するための調査項目。

- ・職業（学生：高校（普通科・工業科・商業科等）大学・大学院（文科系、理科系）、専門学校）
- ・宇治市の居住年数
- ・宇治市で過ごしたライフステージ（出生、小学校入学、中学校入学 等）

##### ②居住継続意向

- ・宇治市に住みつづけたいか
- ・住みつづけたい理由
  - 愛着がある
  - 相続等の理由で離れるわけにいかないから（長男・長女だから等）
  - 経済的に引っ越す余裕が無い
- ・離れたい理由
  - 行きたい学校がある
  - 就きたい職業がある
  - 住みたい場所がある
  - 生活環境が悪い
- ・離れたい人の帰ってくる可能性とその理由

###### ◇設定理由

離れたい人が、帰ってくる理由やその際に重視する内容を把握することで、Uターンを促進する施策検討の基礎資料とするための調査項目

###### 【帰ってくるタイミング】

- 就職
- 結婚・出産
- 親などの介護

###### 【帰ってくる上で重要なこと】

- 望む仕事があること

- 望む住まいがあること
- 両親が健在であること
- 子育て・教育環境が良いこと

### ③職業・仕事についての考え方

#### ◇設定理由

国勢調査によると、就職の年代に本市を離れる傾向にあるため、市内企業への就職等による人口流出抑制を図る施策検討の基礎資料とするための調査項目

- ・ 仕事を選択する時の優先順位（高校生、大学生、社会人で意識の差を明らかに）
  - 会社の規模
  - 会社の知名度
  - 給与水準
  - 自分の技術・技能を活かせること
  - 地元であること
  - 雇用条件（正社員、有期雇用）
- ・ 地元への就職意向

## 2. 結婚・出産、子育て

#### ◇設定理由

子育てサービスのニーズは、「子ども・子育てニーズ調査」で既に把握しているため、結婚・出産を中心として、関連する子育てサービスについての調査項目。

また、京都府の「少子化要因実態調査」において、同様の調査をしているため、結果を踏まえつつ、ポイントを絞った調査項目とする。

#### (1) 調査対象

- ・ 市内在住の20～49歳 1,500人

#### (2) 調査項目

##### ①フェイスシート

- ・ 職業（正規雇用、非正規雇用等）
- ・ 収入（個人、世帯）

##### ②結婚について

- ・ 結婚の有無
  - 結婚したいか
    - ◇ 結婚したい理由
    - ◇ 結婚する条件
    - ◇ いつまでに結婚したいか（30歳まで、35歳まで、40歳まで、いつか）
    - ◇ 結婚したくない理由

### ③出産について

#### ◇設定理由

出生率向上のため、出産・子育てしやすい環境をつくる施策検討の基礎資料とするための調査項目

- ・子どもの有無
- ・理想の子ども人数
- ・子どもをもうけるために必要な条件

#### ◇設定理由

項目別に設定することで、それぞれの分野でどのような対策が必要か、論点を明確にするための調査項目

- 仕事に関すること
  - ◇ 安定した雇用環境が得られること
  - ◇ (自分の/配偶者の) 残業が減ること、長時間労働が解消されること
  - ◇ 職場の制度が整備されること
  - ◇ 職場が産休・育休を取りやすい雰囲気になること
- 経済的支援に関すること
  - ◇ 不妊治療に対する経済的支援が手厚いこと
  - ◇ 妊産婦検診に関する支援が厚いこと
  - ◇ 保育所やベビーシッター等子どもを預けられる環境が比較的安い値段で確実に確保できること
- 家族・自分に関すること
  - ◇ 配偶者の理解があること
  - ◇ 親や兄弟姉妹など親族の支援が受けられること
  - ◇ 自分や配偶者の体力があること
- ・ 安心して子育てをするために必要なこと
  - 学校などの教育環境が安心できること
  - 経済的負担がかからないこと
  - 自分や配偶者が子育てについて孤独にならないこと

以上